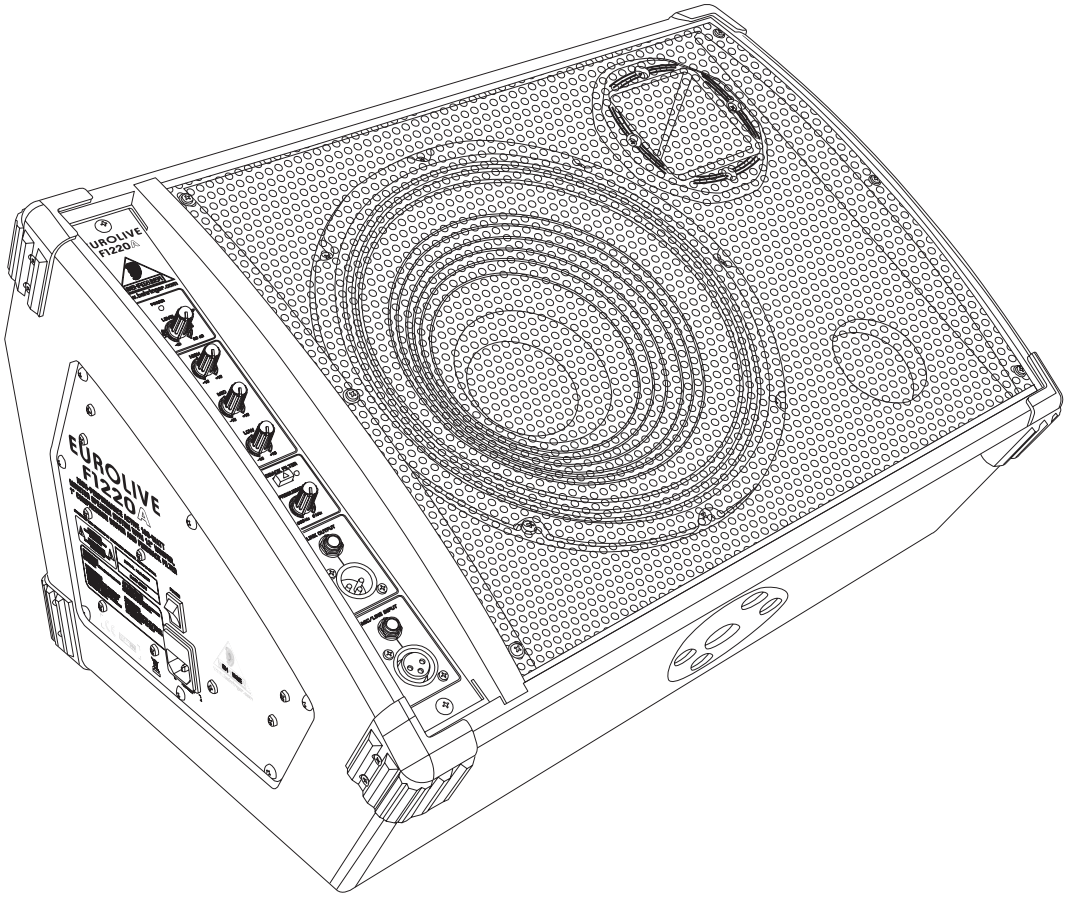
EUROLIVE F1220A

取扱説明書

A50-56332-00001



ja

www.behringer.com

BEHRINGER
JUST LISTEN.

安全にお使いいただくために

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が通じています。手を触れると感電の恐れがあります。

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。 ご使用の前に良くお読みください。

注意

☞ 感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。 製品内部には手を触れないでください。 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。

警告

☞ 火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるとろには設置しないで下さい。 装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

☞ これらの指示は、資格のあるサービス技術者に向けたものです。 感電の危険を防ぐため、有資格者以外は、装置の操作方法に記載された内容以外の整備は、行わないようにしてください。 修理は、資格のあるサービス技術者のみが行うようにして下さい。

1) 取扱説明書を通してご覧ください。
2) 取扱説明書を大切に保管してください。
3) 警告に従ってください。
4) 指示に従ってください。
5) 本機を水の近くで使用しないでください。
6) お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7) 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8) 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9) ニ極式プラグおよびアースタイプ（三芯)プラグの安全ピンは取り外さないでください。 ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。 アースタイプの三芯プラグにはニ本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。 これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。 備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。
10) 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11) 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。
12) ート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

13) 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
14) 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。 電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。
15) すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。
16) 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに手に届く場所に設置して下さい。

目次

1. はじめに 3
1.1 ご使用の前に 3
1.1.1 出荷 3
1.1.2 スタートアップ 3
2. コントロールパネルと接続端子類 4
2.1 上面部 4
2.2 側面部 4
3. 操作方法 5
3.1 音源の接続 5
3.2 複数の F1220A のリンク接続 5
3.3 F1220A をキーボードアンプとして使用する場合 5
3.4 ノッチフィルター 5
4. 接続とフォーマット 6
5. テクニカル・データ 6

1. はじめに

BEHRINGER EUROLIVE F1220A モニタースピーカーシステムのお買い上げ、誠にありがとうございます。包括的な性能と高品位なトランスデューサーを備えたこの EUROLIVE F1220A アクティブフロアモニターシステムは、小／中規模ステージのライブやプレイバックで非常に洗練されたサウンドを提供します。入力セクションにはライン信号もしくはマイクを接続することができます。調節可能なフィードバックフィルターと内蔵リミッターによって、究極のシステムコントロールとスピーカー保護が実現、独立 3 バンド EQ を装備しているため、柔軟なモニターサウンドをクリエイトできます。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

製品は、安全な輸送のために工場出荷時に十分な注意を払って梱包しておりますが、 万が一包装ダンボールが破損している場合は、機器の外面に破損がないことをご確認ください。

☞ **万が一機器に破損がある場合は、保証請求権が無効となることを防ぐために、製品を当社へ直接返送せずに、必ず販売代理店および運送会社までご連絡ください。**

☞ **機器を保管したり輸送する場合は、破損を防ぐために、必ずオリジナルの梱包箱を使います。**

☞ **機器や包装箱は子供の手の届かない場所に保管してください。**

☞ **梱包材は環境保護に適した方法で廃棄します。**

1.1.2 スタートアップ

十分な換気を確保し、過熱を防ぐために機器は暖房などのそばに設置しないでください。

注意

☞ **ヒューズを交換する前には、感電や装置への損傷を防ぐため、コンセントを抜いて装置の電源を完全に切ってください。**

☞ **ヒューズが焦げた場合は、正しい値のヒューズと交換します。ヒューズの値については「テクニカルデータ」の章をご覧ください。**

電源アダプタージャックのヒューズホルダーには 3 つの三角形マークが記されています。このうち、2 つの三角形は向かい合った位置に記されています。この製品は、これらのマークの隣に記された起動電圧に設定されており、ヒューズを 180 度回転させると別の電圧に設定を変えることが出来ます。

電源への接続には付属の常温機器コネクター付き回路ケーブルを使用します。このケーブルは必要な安全基準を満たしています。

☞ **すべての機器が正しく接地されていることを確認します。安全のために、機器や電源回路ケーブルからアース線を取り外したり使用不能にすることは絶対にしないでください。必ず正常な接地線をご使用のうえ、装置を電源網に接続してください。**

注意

☞ **スピーカーは大きな音量が出るように設計されています。音圧が高いと耳の疲れを早めるだけでなく、聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。適度な音量でお使いください。**

接続の際の注意（重要）

☞ **電波の強い放送局や高周波音源の範囲内では、音質が減退する可能性があります。 その場合は、送信機と機器の距離を離し、すべての接続にシールドケーブルを使用してください。**

2. コントロールパネルと接続端子類

2.1 上面部

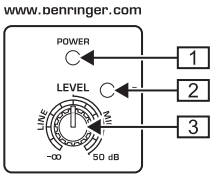


図. 2.1: コントロールパネル第一グループ

1 *LOW*コントローラーで低音を調節できます。

2 信号が過変調すると、*CLIP*-LEDが点灯します。CLIP-LEDが消灯するか、あるいは高い信号でのみ点灯するまで、LEVELコントローラーで音量を下げます。

3 *LEVEL*コントローラーで、ライン信号とMIC信号の音量を調節します。レベルの高いライン信号は調節帯域の左半分で弱め、レベルの低いMIC信号は右半分で強めます。

レベル設定: 音声信号を流したまま、CLIP-LED 2 がピークに達する寸前で点灯する程度まで LEVEL コントローラーを徐々に右へ廻してください。 LED が常時点灯しないようお気をつけください。

☞ **音量が大きいと聴力に悪い影響を与え、ヘッドフォンやスピーカーの故障につながることがあります。機器をオンにする前に、LEVELコントローラーを左の目盛りまで回してください。適度な音量でお使いください。**

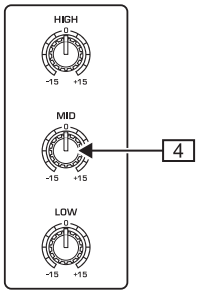


図. 2.2: イコライザ

4 F1220A には 3 バンド EQ が備えられています。各バンドとも最大 15 dB のブースト／カットが行えます。センターポジションでは EQ はニュートラルとなります。

ハイバンド (*EQ HIGH*) およびローバンド (*EQ LOW*) は、スレショルドを超える、もしくは下回る周波数のブースト／カットを行うシェルビングフィルターとなっています。各スレショルド値は、それぞれ 12 kHz および 80 Hz となっています。ミッドバンド (*EQ MID*) は、 2,5 kHz 付近をセンター周波数にもつピークフィルターとなっています。

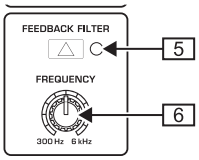


図. 2.3: フィードバックフィルター (ノッチフィルター)

大きな音量もしくは非常に狭いステージ上での使用の際にはフィードバックが発生する場合があります。これを除去したい場合は、*FEEDBACK FILTER* 機能 (5, 6) を起動させてください。フィードバックフィルターの使用法に関しては、第 3.4 章「ノッチフィルター」をご覧ください。

5 このボタンを押すと、フィードバックフィルターが起動します。

6 このコントローラーでフィードバックフィルターのセンター周波数を設定します。

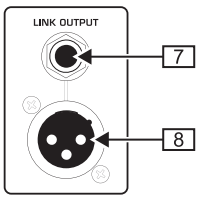


図. 2.4: LINK OUTPUT

7 + 8

*LINK OUTPUT*出力は、F1220Aの入力と直接接続しており、未変調の入力信号を伝送します。そのため、信号を他の機器の入力(2台目のF1220Aなど) に送ることができます。

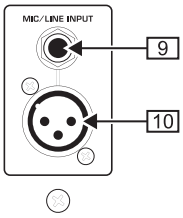


図. 2.5: MIC/LINE INPUT

9 この 6.3 mm ステレオジャック端子はジャック出力付きの信号ソースとの接続に使用します。

10 この XLR端子は、XLR出力付きの信号ソース用の左右対称入力です。

☞ **XLR入力またはジャック入力を使用し、LEVELコントローラーで入力感度を調節します。 決して、2つの入力を同時に使用しないでください。**

2.2 側面部

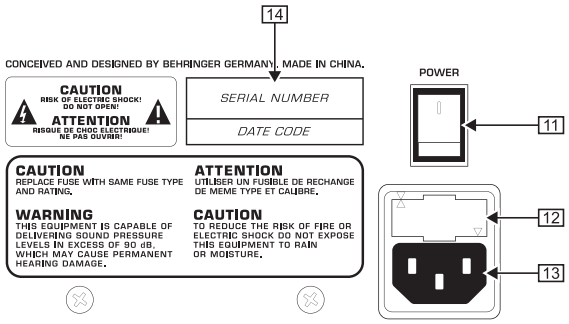


図. 2.6: F1220A の側面部

11 *POWER*スイッチにより、F1220Aの操作を始めてください。

☞ **注意:POWERスイッチを切っただけでは、電源が完全に切れたことにはなりませんので、長い間本ユニットを使用しない場合は電源コードをコンセント(主電源)から抜いてください。**

12 F1220A のヒューズホルダーでは、ヒューズを交換することができます。古いヒューズは、必ず同じタイプのヒューズと取り替えてください。ヒューズについては第5章「テクニカル・データ」に記載があります。

13 電源への接続には標準コネクターを使用します。この装置には適合する電源コードが付属しています。低音のブーミングを防ぐために、スピーカーボックスとミキサーは同じ回路から電力を供給します

14 シリアルナンバー

3. 操作方法

F1220A をモニタースピーカーとして使用する場合は、ミキサーのモニター出力および AUX 出力から F1220A へ音声信号を送り込みます。同じモニターミックス信号を複数のスピーカーで使用したい場合は、1 台目の音声信号を LINK 出力を介して 2 台目の F1220A へ送り込みます。各 F1220A の音量は、それぞれ LEVEL コントローラーで調節可能です。

3.1 音源の接続

F1220A 一台とマイクが一本あれば、最小限度の労力で小規模な P.A. 環境を整えることが可能となります。キーボードや CD プレイヤー、またはミキサーの AUX センド出力といった外部機器からの音源は、F1220A の LINE 出力を介して操作することが可能となります。

音源の接続

- ▲ LEVEL コントローラーを左に廻しきってください。
- ▲ 音源となる音声信号を MIC/LINE 入力に接続してください。
- ▲ F1220A に電源を投入します。
- ▲ LEVEL コントローラーを徐々に右に廻して、お好みの音量に設定してください。音量レベルの目安には CLIP-LED をお使いください。信号がクリップする際に LED が一瞬点灯するのは問題ありませんが、常に点灯しないよう十分お気をつけください。

フィードバックに注意！

☞ **マイクの高感度の収音部をスピーカーに向けないようご注意ください。F1220A を取扱う際は、マイクとスピーカーとの距離を十分保つように心がけてください。**

3.2 複数の F1220A のリンク接続

比較的規模の大きなステージ環境で同じモニターミックスを使用したい場合は、ステージモニターの数を増やしてください。 LINK 出力を介して 2 台の F1220A が接続できます。その際、1 台目の F1220A にマイク信号もしくはラインレベル信号が接続されていても問題ありません。

アクティブスピーカーを使用してのリンク接続

- ▲ 1 台目のスピーカーの LINK 出力と 2 台目のスピーカーの LINK 入力を相互に接続してください。

3.3 F1220A をキーボードアンプとして使用する場合

ギタリストおよびベーシストは、ステージ上で自分の楽器の音を聴くことができるように、たとえモニターシステムが使用するにしても、大概自身でアンプを所有しています。特に小さなステージでの演奏においては、こういったアンプでもステージ上の音量レベルに負けないだけの出力を備えています。しかし、キーボーディストとなると、自分でアンプを所有していない場合がほとんどでしょう。

F1220A では、キーボードが直接接続できるようになっています。 2 台のキーボードを使用したい場合は、これらを一台のサブミキサー（MicroMIX MX400 など）でまとめ、ミキサー出力と F1220A の LINE 入力を相互接続するだけとなります。このサブミキサーに、ハウスミキサーから AUX ／モニター信号を送り込めば、バンドの他のメンバーの演奏も一緒にモニターすることができます。

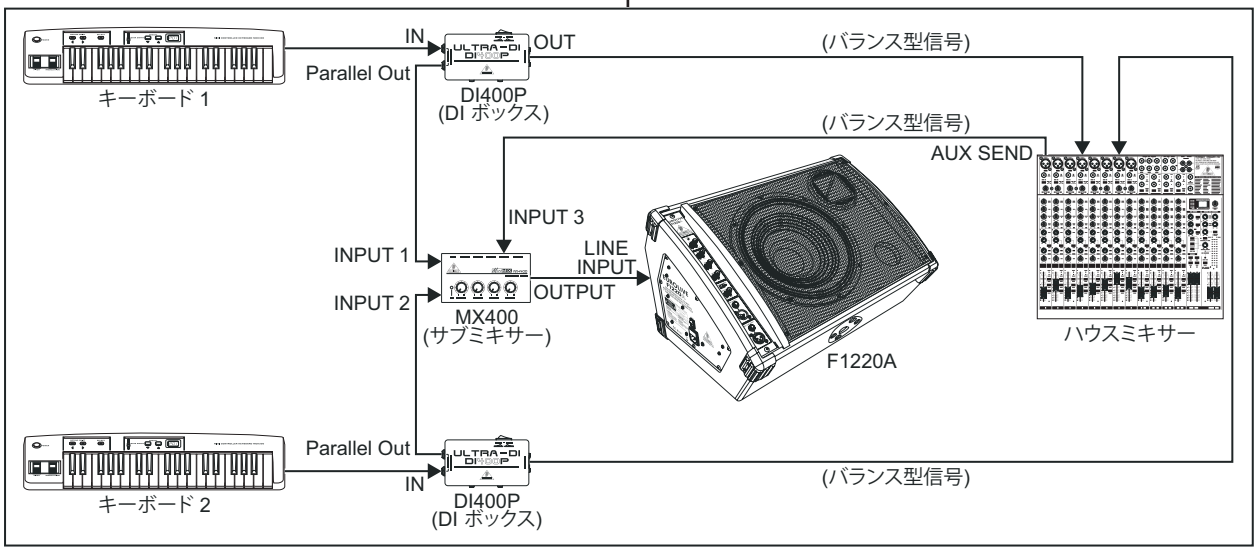


図. 3.1: F1220A を 2 台のキーボードと使用する場合

3.4 ノッチフィルター

ノッチフィルターは、使用信号に含まれる非常に狭い周波数帯域部分を削ぎ落とす役割を果たします。フィードバックなどの典型的な干渉ノイズは、しばしばある特定の周波数で発生するため、この機能を使ってこの帯域を効果的にカットすることができます。

干渉ノイズを特定したい場合は、このフィルター機能を起動させ、FREQUENCY コントローラーを左からゆっくりと右へ廻していってください。

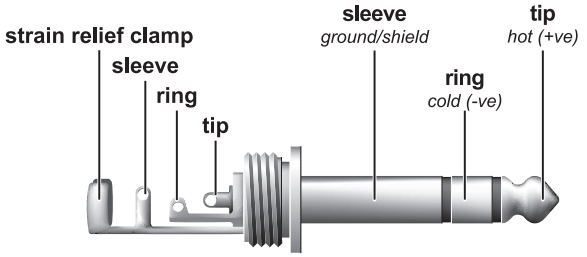
☞ **フィードバックが常に発生してしまう場合は、ラインレベル信号用に当社のFEEDBACK DESTROYER PRO FBQ2496 をお使いください。ラインレベル信号もしくはマイクレベルの調節用には、同じく当社の SHARK DSP110 シグナルプロセッサーをお勧めします。**

ja

4. 接続とフォーマット

ベリンガーF1220Aのオーディオ入力と LINK OUTPUT接続は左右対称に取り付けられています。他の機器と左右対称の信号伝送を行う際に使用して、妨害信号補正を最大化します。

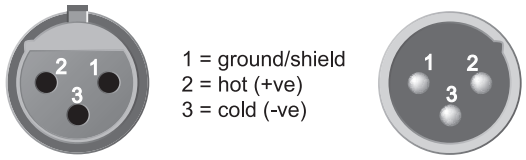
ステレオフォンジャックによるバランス型接続



バランス型端子をアンバランス型として使用する場合にはリングとスリーブを接続してください。

図. 4.1: 6.3 mm TRS コネクター

XLR コネクターによるバランス型接続



アンバランス使用の際には Pin 1 と Pin 3 を接続してください。

図. 4.2: XLR コネクター

☞ **機器のインストールとサービスは、必ず専門家だけが行うように注意してください。インストールの間そしてその後も操作する人は、常にアースするように注意してください。さもないと、静電気の漏洩によりシステムの特徴が損なわれる可能性があるからです。**

5. テクニカル・データ

出力	
RMS @ 1% THD	90 W / 8 Ω
ピーク出力	125 W / 8 Ω
入力	
XLR接続 (サーボ左右対称化)	
感度	−50 dBu から +10 dBu
入力インピーダンス	11 kΩ バランス; 30 kΩ アンバランス
6.3 mm ステレオフォンジャック (サーボ左右対称化)	
感度	−50 dBu から +10 dBu
入力インピーダンス	11 kΩ バランス; 30 kΩ アンバランス
リンク出力	
XLR接続	
スピーカーシステムデータ	
周波数帯域	60 Hz から 18 kHz (−10 dB)
最大音圧	121 dB @ 1 m
リミター	オプティカル
イコライザ	
低域	80 Hz / ±15 dB
MID	2.5 kHz / ±15 dB
高域	12 kHz / ±15 dB
フィードバックフィルター	
フィルター周波数	300 Hz から 6 kHz
カット	最大 15 dB
電源供給	
消費電力	最大 180 W
電源電圧 / ヒューズ	
100 – 120 V~ (50/60 Hz)	T 2.5 A H 250 V
220 – 230 V~ (50/60 Hz)	T 1.25 A H 250 V
電源接続	標準 IEC 電源コネクター
外形寸法および重量	
外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	約 360 mm x 580 mm x 406 mm
質量	約 18 kg

BEHRINGER 社は、最高の品質水準を保つ努力を常に行っています。 必要と思われる改良等は、事前の予告なしに行われますので、技術データおよび製品の写真が実物と多少相違する場合がありますが、あらかじめご了承ください。 技術仕様および外観は予告なく変更する場合があります。

テクニカルデータや製品の外観は予告なしに変更される場合があります。 ここに記載された情報は、印刷時のものです。 表記された登録商標(BEHRINGER 、BEHRINGER ロゴ、 JUST LISTEN, EUROLIVE, MICROMIX, ULTRA-DI, FEEDBACK DESTROYER および SHARKを除く)は、すべて該当する登録商標所有者に帰属するものであり、BEHRINGER 社とは一切関係ありません。色およびスペックが製品と微妙に異なる場合があります。製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。製品のディストリビューター(配給元)およびディーラー(販売業者)は、 BEHRINGER の特約代理店ではなく、これらは明示・暗示を問わずあらゆる行動および表現によって BEHRINGER を拘束する権限を一切有しません。 この説明書は、著作権保護されています。 本取扱説明書に記載された情報内容は、 BEHRINGER International GmbH からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

複製権所有 / ALL RIGHTS RESERVED. © 2008 BEHRINGER International GmbH, Hanns-Martin-Schleyer-Str. 36-38, 47877 Willich-Muenchheide II, Germany. Tel. +49 2154 9206 0, Fax +49 2154 9206 4903